

NEC府中事業場環境活動報告書2006

この報告書はNEC府中事業場の2005年4月から2006年3月までの活動をまとめたものです。

◆発行にあたって◆

NEC府中事業場は環境活動を経営の重要な課題のひとつと捉え、従業員全員参加による持続可能な社会作りを目指して取組みを進めております。

当事業場は放送・制御事業、航空宇宙・防衛事業の社会インフラソリューション事業、及びOS等のソフトウェアプロダクト事業、ソフトウェアサポートサービス事業およびスーパーコンピュータ等のプロダクト事業に関わる製品開発などを担当しています。製品開発の局面では消費電力の削減等、環境に配慮した製品開発に注力しており、NEC独自に制定した環境配慮レベルの高い製品に付与する「エコシンボルマーク」の取得を積極的に進めております。

また、省エネルギーや廃棄物削減、環境リスクの低減活動、及びその基礎となる従業員に対する環境教育・啓発にも努めております。

この度2005年度の活動結果を「NEC府中事業場環境活動報告書2006」として取りまとめ発行いたしました。本報告書に当事業場の環境活動を具体的に記載致しておりますので、全社環境アニュアルレポートと合わせてご覧頂き、NEC府中事業場の環境活動へのご理解、並びに率直なご意見と一層のご支援を賜われれば幸いです。(NEC環境活動 <http://www.nec.co.jp/eco/ja/>)



府中地区責任者
溝辺 隆之

◆もくじ◆

1.府中事業場概要

2.府中事業場環境管理組織と体制

3.環境活動

- ◆環境配慮型製品開発
- ◆地球温暖化防止
- ◆廃棄物の発生抑制
- ◆化学物質管理 ◆法順守
- ◆環境リスク対策 ◆環境監査
- ◆教育啓発
- ◆地域調和・コミュニケーション

4.活動まとめ

- ◆2005年度環境負荷データ
- ◆2005年度環境目標達成状況
- ◆2006年度環境重点課題と活動目標



◆1.府中事業場概要◆

- 開設：1964年（昭和39年）9月
- 敷地面積：219,152㎡ 延床面積：244,862㎡
- 緑化率：24.8%
- 従業員人数：7960人（平成18年4月末）
（社員：3300人、関係会社、協力会社：4660人）

○主な開発製品



スーパー
コンピュータ



磁気ディスク
アレイ



汎用コンピュータ
・サーバー



宇宙開発事業



航空管制レーダー



デジタルマスター送信機



郵便自動化装置

◆ 2. 府中事業場環境管理組織と体制 ◆

NECでは環境憲章を定め、環境マネジメントシステムに基づく管理組織、体制のもと環境活動を進めております。

NECの環境憲章

NECでは、環境方針として、環境理念と行動指針からなる環境憲章を制定しています。

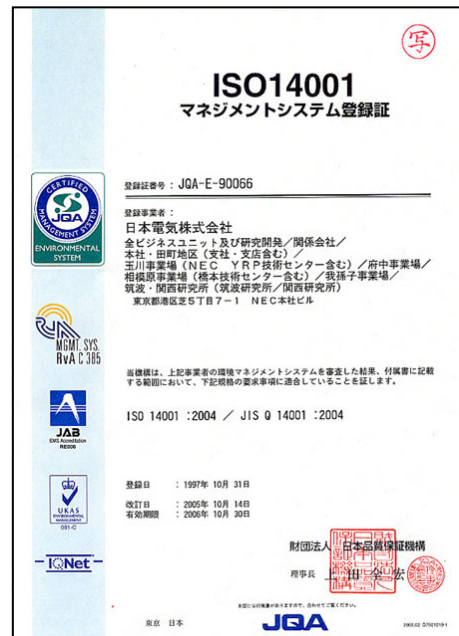
環境理念
NECは環境と調和するテクノロジーと環境にやさしい生産の追求をとおして自然のいとなみを尊重し世界の人々が人間性を十分に発揮できる豊かな社会と環境の実現に貢献します。
行動指針
《前文》 NECは環境との調和を経営の最高課題のひとつとして企業活動の全域で一人ひとりが環境へのやさしさを優先して行動します。 1. 開発・設計の段階で環境・安全を考慮した評価を行い、環境保全に適合した省資源、省エネルギーの製品を提供する。 2. 生産、販売・物流、使用、廃棄などの段階で環境技術の開発・向上につとめ、環境保全に貢献できる資材・工法、再利用の積極的な導入をはかる。 3. 国・地方自治体などの環境規制を遵守することはもとより、自主管理基準を設定し、環境管理レベルの向上につとめる。 4. 全員への環境教育を徹底し、環境への意識向上をはかると共に、地球的規模の視点に立った環境保全活動により社会に貢献する。 5. 分担役員を頂点とした環境管理の組織・運営制度を整備し、責任所在の明確化をはかると共に、常に最新の環境規範にしておく。 6. 環境監査により活動を確認して改善施策を実行し、自主管理の維持向上につとめる。 7. 開発した環境の技術・管理手法を積極的に公開し、環境保全に貢献する。 制定: 1991年11月22日 日本電気株式会社

環境マネジメントシステム

環境マネジメントシステムとは企業や団体が事業活動を行う際に、環境を改善する仕組みを規格化したものです。NECは、全ビジネスユニット（事業部等の集まり）、本社、事業場、研究所、支社・支店、一部関係会社で、統合取得しています。

取得年月：1997年10月

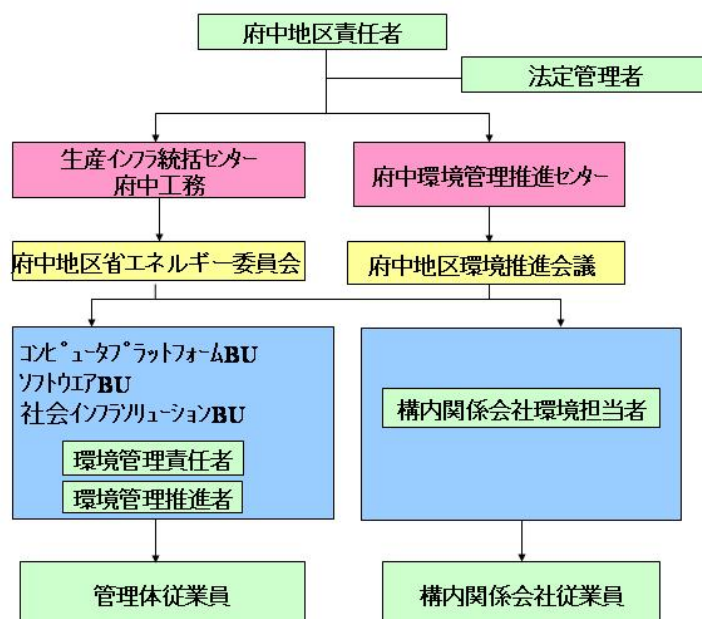
認証番号：JQA-E-0066



府中事業場環境管理組織と体制

当事業場（地区）では、府中地区責任者を頂点とした環境管理組織と、法定管理者を設置し、法、条令順守を徹底しています。

また、地区環境活動計画、地区の環境活動のルールなどは、府中地区環境推進会議や省エネルギー委員会にて、展開され、各ビジネスユニット（BU）の環境管理責任者、構内関係会社の環境担当者等を通して、全従業員へ展開されます。



◆ 3. 環境活動 ◆ 環境配慮型製品開発

N E Cでは、製品のライフサイクル全般において地球温暖化防止、有害化学物質削減、資源循環などに配慮した環境配慮型製品の開発に努め、環境負荷の低減を進めています。これにより、お客様の環境負荷低減にも貢献いたします。

環境配慮型製品開発

製品開発時に性能・品質・価格・デザインに加え、エコロジーの視点として地球温暖化防止（省エネルギー）、グリーン化（有害化学物質の削減）、資源循環（リデュース、リユース、リサイクル）の評価を行い、製品のライフサイクル全般における環境負荷低減に取り組んでいます。

全製品を環境配慮型製品にすること、またこれらの製品の内、業界をリードする環境配慮のトップランナー製品を「エコシンボル製品」と社内認定し、「エコシンボル製品」の比率向上を図ることを目標に活動を進めています。2005年度よりハードウェア製品に加え、ソフトウェア・サービス製品もエコシンボルの対象としました。

「エコシンボル製品」は環境情報を製品カタログやホームページ等を通じて公開しています。

<http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/strategy/zensha.html>

N E C府中事業場の主要エコ・シンボルマーク取得製品

高速電子文書閲覧ソリューション「DocumentSkipper」

カタログなどの画像データの高速閲覧システム

CO2排出量：71%削減



スーパーコンピュータSX-8i

低消費電力：従来製品比50%低減

製品質量：従来製品比60%低減

N E Cが定める禁止物質を含まない



Express5800/100

低消費電力：従来製品比51%低減

製品質量：性能当たり39%低減

N E Cが定める禁止物質を含まない



コーデックVD-5511

（VD-5800デコードに内蔵）

低消費電力：従来製品比50%低減

体積比：従来製品比87%低減

N E Cが定める禁止物質を含まない



iStorage S49XX/A49XX

低消費電力：従来製品比31%

資源循環：再資源化率90%を維持

グリーン化：社製パッケージに

鉛フリーはんだ適用



エコシンボルマーク

エコシンボル取得製品では、商品パンフレットや包装箱にマークを表示し、インターネットなどで詳細な環境情報を公開しています。

◆ 3. 環境活動 ◆ 地球温暖化防止

当事業場では、設備更新時の省エネ機器への切り替えや、OA機器の不使用时のOFF徹底等により省エネルギー活動を進めております。2005年度は他事業場からの転入により、CO2発生量が4,300トン増加しましたが、付帯設備の更新等により床面積原単位は、前年度比3.5%改善しました。

エネルギー使用量削減

2005年度のエネルギー削減施策としてインバータコンプレッサ・高効率エアコン・高効率ターボ冷凍機へ更新と、蒸気圧力の変更・変電設備の集約による省エネ等を実施し、CO2排出量459トン／年を削減しました。また、ガラス飛散防止フィルムに省エネ窓フィルムを採用することでの省エネルギーも行いました。

昼休みの省エネパトロール

NEC府中事業場では、昼休みに、天井灯をはじめ、未使用時のパソコン電源OFFを徹底しています。8月に省エネルギー委員と、府中工務で、昼休みの省エネ実施状況をパトロールし、消灯率の低い部門には注意を促しました。

昼休み時は、天井灯の消灯や、使わないパソコンの電源OFFを心がけています。また、一定時間使わないとモニターが自動的にきれるよう設定し、節電に心がけています。

従業員Nさん



省エネルギー啓発活動

2月の省エネ月間に『地球温暖化防止マイナス6%に向けて』をテーマに講演会を開催し、東京電力(株)殿と東京ガス(株)殿のご協力により、省エネキャンペーンを開催しました。省エネ電化製品、家庭用燃料電池、省エネパネル展示を行いました。また月間行事として省エネ標語を募集し、2006年度省エネ標語を選出しました。11部門から175件の応募がありました。

2006年度省エネ標語

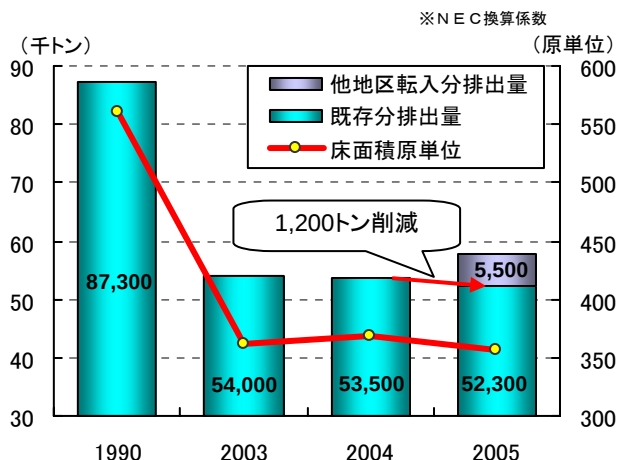
【見直そう、家庭と職場のムダ使い
チョットの気配り大きな効果】

オフィスでの省エネ

昼休みの消灯、未使用時の電源OFFなどの省エネ活動に加え、2005年度は、政府・経団連の取り組みチームマイナス6%に、全社で参加し、クールビズ運動を展開しました。

＜主な活動＞

- ・ 空調温度の推奨温度（28℃）設定励行
- ・ 空調に見合った服装の励行



CO2総排出量・原単位グラフ



効果：
519Mwh／年
CO2排出量削減：
318t-CO2／年

新#3コンプレッサ 90kw×3

エアーコンプレッサ集約とインバータ化



省エネ講演会



省エネキャンペーン

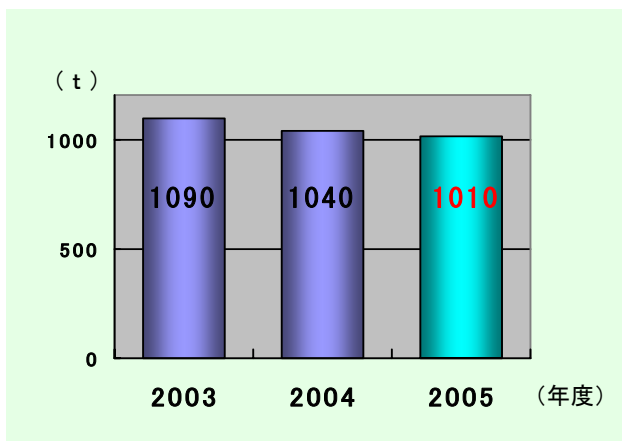
◆ 3. 環境活動◆廃棄物発生抑制・再資源化活動◆

当事業場は、1999年度に廃棄物ゼロエミッション（全てリサイクル化）を達成し、それを維持すると共に、廃棄物の発生抑制を進めております。2005年度は、前年度に比べ3%の削減をすることができました。

廃棄物発生量の削減

2005年度は、裏紙使用、縮小コピー、電子化等の施策強化での古紙発生量抑制、食堂生ごみなどの削減や社内生活で発生する廃プラスチック類の削減活動徹底等により、廃棄物の発生量を前年度比で3%（28 t）削減することができました。継続的に、廃棄物発生量を削減しております。

また、本年度のマテリアルリサイクル（燃やさない）率は、94%を維持しています。



廃棄物発生推移

分別の徹底

再資源化が円滑、且つ適正に実行されるには分別が重要です。その為に事業場内で発生する廃棄物を42分類で分別しています。分別徹底のために、事業場内全員を対象としたWeb教育や分別表のホームページへの掲載などと共に新入社員や転入者へは職場受入教育で分別の説明を行っています。

資源分別調査

定期的に事業場の建物ごとに設置された分別コンテナ内廃棄物の分別調査をその建物の従業員が自らの手で行っています。これにより分別精度の確認や、職場への問題点を見つけ、分別廃棄の改善を図っています。



FUCHUリサイクルセンター

お客様向け分別たて看板設置

事業場内に10箇所ある、リサイクルステーション（廃棄場所）では、はじめて来訪されるお客さま向けに分別案内たて看板を設置し、分別のご協力をお願いしています。



資源分別調査

紙コップを使わずにマイカップを使用しています。紙は使い捨てでもったいないですし、口当たりが紙は美味しくないです。

従業員Oさん

プリンタで出す紙は、承認などをいただく文書以外、なるべく裏紙を使うようにしています。印刷して内容を確認するだけなのにきれいな紙を出してしまうのはもったいなくてうちのグループではだいぶ前から裏紙を使うようにしています。

従業員Tさん



お客様向け分別たて看板

◆ 3. 環境活動 ◆ 化学物質管理 ◆

当事業場では、製品の開発・試作・評価・製造や工場付帯及び工場空調設備などで、化学物質を使用しています。環境負荷の低減を目指し、使用量削減・より環境負荷の小さな化学物質への代替化を進めると共に管理の徹底を図っています。

導入前の評価

化学物質や設備を新たに導入する際に安全面や防災面、環境への影響、順法性を評価しています。

取扱量・収支量の把握

すべての化学物質の取扱量を把握するとともに、移動量（環境中、製品、廃棄物としての排出量）の収支を管理しています。

- ・ P R T R法指定化学物質
→15物質（86.4kg）
- ・ 東京都条例指定化学物質
→24物質（3,756kg：含む構内関係会社）

削減活動

毎年、削減活動の展開、環境負荷の小さい物質への変更の検討などを行っています。

特定作業従事者への教育

化学物質を使用している職場では、化学物質取り扱いに関する教育や法律上必要な資格の取得推進なども行っています。



化学物質の収支管理

◆ 3. 環境活動 ◆ 法順守 ◆

当事業場では、法条例を順守するため、その改正情報を定期的に確認し、確実な対応を図っています。また、順法状況を確認するために、定期的に分析測定を行っています。

特定施設等法定届出

特定施設の変更時等は、事前に届け出を行うことが義務付けられており、遅滞なく届出を完了しています。

分析測定の実施

国の法律や東京都の条例に基づいて大気、水質、騒音について定期的に分析測定を実施し、問題がないことを確認しております。大気、水質については法規制値よりも厳しい自主管理値を設定して監視しています。2005年度は、大気関係ではボイラ関係設備、その他のガス関係設備を年2回、水質関係では下水最終放流口で42項目を延べ年約1500検体、雨水は24項目を年2回、騒音関係では敷地境界で14カ所を早朝、昼、夜間、深夜の時間帯毎に年2回測定し全項目問題がありませんでした。しかし、休日に行った工事で騒音を発生させ近隣の方からクレームをいただいた事故が1件ありました。

廃棄物現地確認

事業場から排出する廃棄物の処理状況やリサイクルの状況を確認するため、16ヶ所の廃棄物処理業者を訪問し確認しました。



敷地騒音測定



下水最終放流口採水

◆ 3. 環境活動 ◆ リスク対策

当事業場では、化学物質の管理の徹底を図ると共に、漏洩等の事故発生に備え、環境への影響を防ぐための緊急訓練実施等のリスク対策を行っています。

緊急事態への準備

化学物質の保管、使用時の事故を発生させないように管理を徹底するとともに、従業員の健康や安全の管理強化も図っています。また、設備の稼働前、運転中、停止後の日常点検に加えて万一、事故などの緊急事態が発生した場合に備え、事前に準備すべき事柄や、発生時の対応手順を定めることにより、事故などの緊急事態発生時の速やか、かつ正確な情報伝達と処置行動を行うべく日頃より訓練しています。2005年度は、地震に伴い、酸系排ガス洗浄装置（図1）の苛性ソーダ配管からの薬品漏洩を想定したもの、塩酸供給ポンプ（図2）のフランジ部からの塩酸漏洩を想定したもの及び危険物保管棚（図3）より塗料缶等が落下し、火災発生を想定したものなど、7件の緊急時対応訓練を実施しました。



図1 酸系排ガス洗浄装置



図2 塩酸供給ポンプ



図3 危険物保管場所

◆ 3. 環境活動 ◆ 環境監査

当事業場では、環境活動の進捗状況を確認するため、毎年、セルフチェックと環境経営監査、ISO 14001 審査受査し、活動の見直しを行っています。

セルフチェックと環境経営監査

セルフチェックは年に1回、環境経営監査前に実施します。環境負荷低減活動、リスク管理、環境意識啓発、人材育成などの活動状況を自ら評価しています。評価結果は環境経営監査の事前資料にもなります。

環境経営監査では、公認のCEAR登録審査員を含む内部監査員が書類調査およびパトロールを実施しています。2005年度は5件の指摘がありましたが、すべて年度内に対応を終えています。



ISO審査

外部環境監査として日本品質保証機構（JQA）によるISO 14001 適合審査をNECの一部門として受審しています。

◆ 3. 環境活動 ◆ 教育・啓発 ◆

当事業場では、従業員一人ひとりが、高い環境意識を持ち、自発的な環境配慮の行動が取れることを目的として環境教育や啓発行事を行っています。新入・転入社員受入時の環境受入教育や、環境月間行事の開催、ホームページやメールマガジン発行などによる情報発信、体験型教育を実施しました。全社で実施する環境経営意識アンケート調査では高環境意識層比率が3%改善しました。

府中アースハーモニー（環境月間）

6月、11月を環境月間とし、様々な行事を開催し、従業員の意識啓発を図っています。

＜主な月間行事＞

●環境講演会

11月30日に外部講師による「スイスエコライフレポート」と本社環境推進部による「環境配慮型製品開発と含有物質規制対応」の講演会を開催しました。

（100名参加）

●府中市内企業見学ツアー

●環境パネル展

●廃棄物分別調査

●環境実務者教育

●WEB環境クイズ

●府中市企業見学会ツアー

6月15日にサントリー殿が開催するエコツアーへ17名が参加しました。資源循環のひとつとして、リサイクル製品を積極的使用し、使用済みのペットボトルから、従業員の作業服へ生まれ変わる過程が紹介されていました。

ホームページ、メールマガジン

WEBを利用して、省エネルギー、廃棄物の分別方法、化学物質管理などの環境活動ルールを掲載し、従業員へ徹底しています。

また、メールマガジンを発行して、環境関連の行事や用語など環境情報を発信し、エコマインド（環境意識）の養成を図っています。

参加体験型ワークショップ

参加体験型ワークショップの形態により、自発的な意見交換を行い、気づきから行動へ移るためのきっかけとなる教育を実施しています。

今回は、グリーンコンシューマを勉強し、お客様の立場に立って、自社製品を客観的にとらえ、環境配慮されているかどうか、討議しました。

事業場農園作業

社内食堂の生ゴミから作られた堆肥を利用し、有機野菜を栽培しています。

栽培を通し、「食の循環」を学び、従業員同士のコミュニケーションを図っています。

買い物へ行くときは、マイバックを持参して、スーパーの袋はもらいません！

従業員Sさん



サントリー殿リサイクル製品紹介

府中環境管理推進センター

更新日2006年 5月 23日

地区ルール 分別リサイクル 意識啓発 カレンダー 環境マニフェスト 環境活動旬 化学物質 リンク集

Topix 2006「環境月間」です。各種イベントへの参加をお待ちしております。

2006/05/22 >>> 5/22と23日の両日、府中地区の各企業で「環境月間」のイベントが開催されました。

2006/05/22 >>> 6月の環境月間イベントの開催が決定しました。

2006/05/22 >>> 環境月間イベントは6月分まで開催予定です。

2006/05/22 >>> 府中市の各企業で「環境月間」のイベントが開催されています。

2006/05/22 >>> 府中市の各企業で「環境月間」のイベントが開催されています。

府中環境管理推進センター
NECアニュアルレポート2005

分別検索 FAQ 各種エコ情報 府中環境管理推進センター 府中環境管理推進センター 府中環境管理推進センター

府中環境管理推進センター

府中環境管理ホームページ



参加体験型ワークショップ意見交換



事業場農園の草取り作業

◆ 3. 環境活動 ◆ 地域調和 ◆ コミュニケーション

当事業場では、全社の社会貢献活動や地域の環境活動への参加、地域の皆様の事業場見学の受け入れなどを通し、地域の皆様がNECを理解していただけるよう努めております。

『NEC Makes a difference 2005』

NECとして、「豊かな社会の実現」に向け、社会貢献活動の一環として、全世界のNECグループ社員が世界各地のコミュニティで様々な地域社会貢献活動を行う「NEC Makes a Difference」運動を実施しています。当事業場では、2005年度は使用済切手やプリペイドカードなどを収集し、府中市社会福祉協議会殿へ寄付いたしました。



府中市社会福祉協議会殿へ贈呈

通勤路クリーン作戦

毎年2回、従業員により分倍河原駅、中河原駅から会社までの通勤経路の清掃を実施しています。また、府中市主催で4月に開催される「府中多摩川清掃」にも、積極的に参加しています。



通勤クリーン作戦



府中多摩川清掃

府中リサイクルフェスタへ参加

地域の皆様に事業場の環境活動をご理解していただくために、府中リサイクルフェスタに出展、事業場から出るゴミのリサイクル状況のパネル展示などをおこなっています。



府中リサイクルフェスタ

事業場見学

事業場見学会として、6月21日武蔵工業大学（70名）を受け入れ、12月7日には府中市立第8中学校（19名）に出向き、社会科の授業を受持ち、事業場見学も行いました。事業場内での42種類の分別方法に関心をもった生徒さんがたくさんいました。



武蔵工業大学学生さん



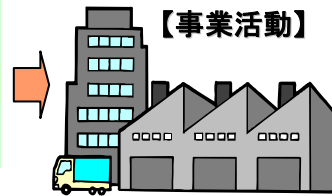
府中市立第8中学校生徒さん

4. 活動まとめ

2005年度環境負荷データ

当事業場では下記のような資源を使用して事業活動を行っています。

☆電気 85,351MWh
 ☆都市ガス 2,317kNm³
 ☆水 467km³
 ☆化学物質 21.4トン
 ☆紙 120トン



☆CO₂ 57,770トン
 ☆排ガス NO_x 2トン
 ☆排水 410km³
 ☆廃棄物 1,007トン
 (うち生産系210トン)

2005年度環境目標達成状況

当事業場では、2005年度の主な目標を下記のように設定し、目標を達成しました。

2005年度活動項目	目 標	評価	達成状況
CO ₂ 排出量削減	付帯設備更新による削減 前年度比50トン	○	52.8トン
	フロア原単位 362.5kg/m ² 以下	○	356.2kg/m ²
廃棄物排出量削減	総排出量の削減 前年度比1%	○	2.7%
リスクミニマム	法定の届出、報告、排出基準などの100%遵守	○	100%
環境意識啓発	高環境意識層の拡大	○	用語解説・メルマガの発行など毎月施策実施

2006年度環境重点課題と環境目標

当事業場では2006年度の主な目標を下記のように定めました。

2006年度活動項目	目 標
CO ₂ 排出量削減	(1) 付帯設備更新・運用・その他施策 50トン削減 (2) フロア原単位 363.5kg/m ² 以下
廃棄物排出量削減	(1) 廃棄物排出量の前年度維持（設備廃棄除く） (2) 廃棄物処理費用の削減：前年度比1000千円
リスクミニマム	(1) 法令（届出、報告、排出基準）などの100%遵守 (2) リスク低減
環境意識啓発	エコプレイヤーをエコエクセレンス層に底上げ



NECの事業活動全体を通じて、社会の環境負荷低減に貢献していくコンセプト。

<http://www.it-eco.net/>

ITには人や物の移動を減らし、環境にプラスに作用する面があります。もちろん電力の使用など、環境にマイナスな面もありますが、製品・部品の再利用や省電力化、エコロジー素材の活用などにより、そうしたマイナス面も減らすことができます。

お問い合わせ先

日本電気株式会社 府中事業場
 CSR推進本部 環境推進部
 府中環境管理推進センター

発行：2006年6月

〒183-8501
 東京都府中市日新町一丁目10番地
 TEL (042) 333-1055
 FAX (042) 333-1991
 Eメール fuchu@eco.jp.nec.com